

# 平成28年度第2回 笠松町地方創生総合戦略審議会 議事概要

|       |                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------|
| 日時    | 平成29年2月21日（火） 19:30～20:55                                     |
| 場所    | 笠松町役場 4階大会議室                                                  |
| 出席の委員 | 岩井会長 岩村副会長 内藤委員 葛谷委員 岡田（悠）委員 岩田委員<br>久納委員 岡田（文）委員 汲田委員 （以上9名） |
| 欠席の委員 | 森委員 樋口委員                                                      |
| 議事概要  |                                                               |

## ① 町長あいさつ

本審議会にてお知恵を貸していただき、一昨年10月に総合戦略を策定することができた。

今年度2度目の審議会になるが、28年度の実績等を踏まえ検証いただき、総合戦略がまちづくりに役立てるように、皆様にお力添えをいただきたい。

限られた時間ではあるが、皆様からの貴重なご意見を賜り総合戦略を推進できるようにお願い申しあげる。



## ② 会長あいさつ

答申を作るまで審議会では大変貴重なご意見をいただき、答申を出してから1年半ほどが経った。

その後全国の地方創生の動きを見てはいるが、成功事例もあまり多くはない。

総合戦略策定するときには大きな考え方があり、KPIを置くこと、それについてPDCAで回していくということが国の要請でもあった。

今回はKPIを中心に今までの取り組み状況、成果をお聞かせいただき、皆様からご意見をいただくよう進めさせていただく。

## ③ 審議（検討・質疑応答等）

[笠松町地方創生総合戦略の進捗について]

<基本目標1>仕事をつくる

○ S～Fの評価とKPIの関係をクリアにした方がよい。単年度の数値と5年後の到達数値とがあるため、ぶれてしまい、S～Fの評価だけが独り歩きしかねない。

○ 耕作放棄地対策は再生利用に取り組む方向で進めていく。

○ 認定農業者数のKPIは3人だが、現状では基準年と同じ2人ということか。

→ 基準年の2人から変わっていない。

○ 以前の審議会でもKPIの中身の設定根拠を説明いただいている。それと見比べて評価していくとよい。

→ KPIが画一的な設定ではないため、5年間の設定と単年度での設定とがある。単年度の場合はKPIのところに「（年間）」と表示はしているが、より分かりやすい表示を検討する。

○ 女性の起業件数も5年で5件であれば、1年で1件達成しているため評価はSであるように思う。

<基本目標2>笠松に呼び込む

○ 古川町は映画のモデル地になったことで人の呼び込みができています。笠松町もどこかへ働きかけてみては。

→ 岐阜県はアニメの聖地ということで、飛騨市長等が中心になって連合を設立しており、会議にも参加して情報を得ながら笠松を発信していく取り組みをしていきたい。

- 笠松に何があるかというのは、まだ宣伝不足に思う。名古屋の方を呼び込むためのアンテナショップなども必要。
- 県は関ヶ原を、岐阜市は信長入城450年を売り出しており、便乗するわけではないが、関連した動きが笠松でもあったためどこかでPRしたい。個々人の活動だけでは大きな力にならないものを、支援したりするのがあってもよいと思う。それを外へ発信していくことも必要。

<基本目標3>ひとを育む  
意見無し

<基本目標4>安心な暮らしをつくる  
意見無し